町報 川辺

NO.33

発行所
岐阜県加茂郡川辺町
編集
川辺町役場総務課
印刷
川辺印刷

入学式のスナップ（川辺小で写す）

交通事故から子どもを守ろう

都会はもちろん、農山漁村でも、もはや安全地帯はなくなったといわれるほど、交通事故による犠牲者がふえております。

とくに、子どもの交通事故は毎年ふえるばかり。新入学児童の通学も始まっておりますが、かわいらしい一年生が交通事故でけがをしたり、命を失ったりするのは、なんとしても防がねばなりません。

そこで、母親が子どもを守る要点を七つかかげてみました。

①口でやかましく言うより実際に道路に出て、手をあげていっしょに横断歩道を渡ってみたり曲りかどでは左右を見て曲ることを教えましょう。実地教育が最上です。

②事故防止の方法を、子どもの習慣にまでもっていくように反復して教えましょう。

③信号機のある横断歩道でも事故があることや、踏み切りで警報器が鳴っていても事故のあること、汽車の乗り降りの注意などを重点的に実地に教えましょう。

④小学生の場合、忘れものをとりに帰宅途中の事故が多いことは、子どもが忘れものに心をうばわれていることから起ります。子どもを学校や遠足に出す場合は、念をいれて忘れ物がないように点検してやりましょう

⑤幼児を外につれていく場合は、必ず子どもは家並み側を歩かせ、幼児の手をしっかり母親の方から握ってやること。スカートなどにつかまらせて歩いている母親がありますが事故のもとです。

⑥子どもの事故は土曜日に多い。あそびに気をとられたり、あすは日曜日という気のゆるみが原因だったりします。土曜日の午後は赤信号と心得ましょう。

⑦自分の子どもだけでなく、よその子どもでも、危いと思ったら、すぐ注意してあげましょう。

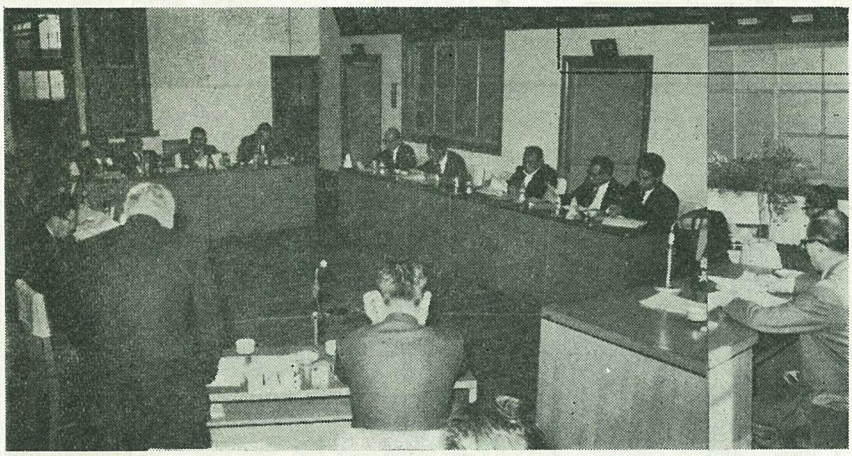
（とじて保存しておいてください。また役に立つときがあると思います。）

43年度の予算きまる

総額1億8千万円

◇…昭和四十三年度予算案などを審議する第一回定例町議会は、三月十…◇
◇…八日午前九時から開かれ、九議案を審議して、いずれも原案どおり…◇
◇…可決しました。……◇

（昭和43年度予算を審議する第一回定例議会）



一般会計 一億四千五百万円

給食センター建設決定

豊かな町づくりをめざして昭和四十三年度の川辺町の予算が決まりました。予算の規模は、一般会計一億四千五百六十一万一千円、国民健康保険事業特別会計二千七百二万一千円、農業共済事業特別会計八百五万五千円で総額は、一億八千六十八万七千円となり、前年度当初予算に比べて約二千百万円の増加になります。

一般会計

ことしの一般会計予算の編成方針は、昭和四十二年度の景気をもととして当初予算は一年の確定した計画であるという考えのもとにことしの重点施策として、給食センターの建設と、川辺町振興計画の立案を二本の柱として編成しました。

主要な施策と関連予算

第一に、小中学校児童生徒の体位向上を図り、心身ともに豊かな人づくりをすすめるために総合給食センターを建設するというもので、予算額は一千五百万円を計上しました。第二は、明るく豊かな町づくりをおしすすめるための川辺町の振興計画の立案に七百万円を計上しております。つぎに、道路、橋梁の改良工事（おもに簡易補装）に七百十八万円、林道、農道の開発に二百四十万円、なおこの事業の器材として小型ダンプカー一台（百万円）の購入を計画しております。

民生、衛生関係では、町社会福祉協議会補助八十五万八千円、老人クラブ助成二十四万円、町営住宅の建設費五百万円、保育園関係一千七十五万七千円、伝染病予防老人検診など百六十八万六千円、町内消毒などに二十七万五千円、し尿処理施設の負担金百二万二千円などです。

農業振興には企業化資金利子補給、土地改良補助など助成補助百十七万円、農作物、家畜の病害防除に五十万八千円、なお、四月二十日に行なわれる蠶化大会の費用として二十五万円を計上しております。

国民健康保険特別会計

療養費が九〇パーセントを占める

国民健康保険特別会計は総額二千七百二万一千円で、このうちの九〇㌫を占める二千四百三十五万八千円は保険給付費となっています。歳入は、六〇㌫の一千六百二万八千円が国庫支出金、保険税は三三㌫八百九十八万円、繰入金その他となっています。保険税は、前年当初に比べると約一二㌫増額になっていますが、療養費が高くなっている現状から已むを得ないものと考えます。しかし、国の基準よりはかなり下まわっております。

三月定例会で決まったこと

①常任委員長の選挙
鈴木産業経済常任委員長の急死にともない後任に大脇岩雄議員を選びました。

②岐阜県市町村職員退職手当組合規約の一部改正
組合負担金の割合などが改正になりました。

③岐阜県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の一部改正
この改正は法律の改正にともなう規約内の名称の改正と、行政区画の変更による市町村名の変更などです。

④川辺町国民健康保険税条例の一部改正
医療費の増加のため昭和四十三年度から保険税均等割額を増額しました。

⑤川辺町農業共済事業事務費の賦課題の決定について
昭和四十三年度分について次のとおり決まりました。

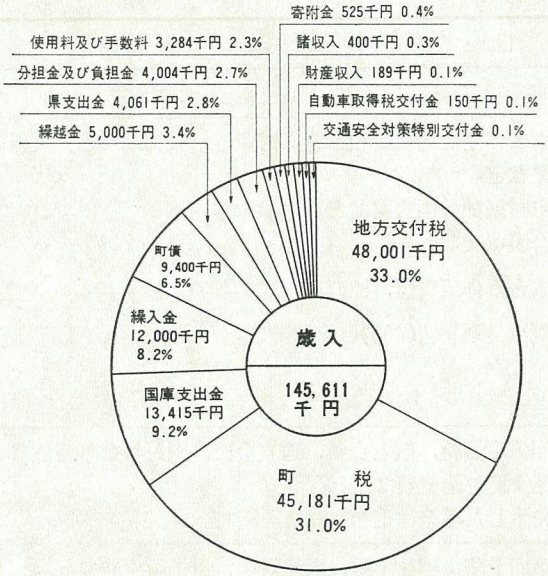
一、賦課単価（単位円）

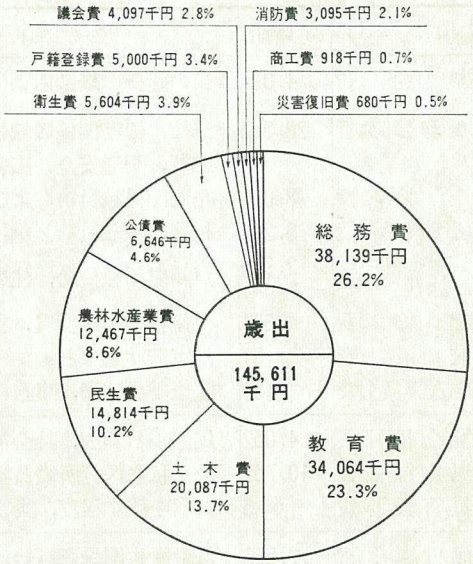
種別	単位	連合町	一計
水稲共済割	一〇㌃	二〇	四〇
麦共済割	一〇㌃	一八	二七
蚕繭共済割	一箱	三六	七四
均等割	一戸	一五	三五
家畜共済割	乳用牛一頭当り	三〇〇	四〇〇
			七〇〇

二、賦課総額　五〇〇、〇〇〇円

⑥川辺町報酬費用弁償および実費弁償に関する条例の一部改正
この改正は、いままで出務一日につき四百円であった非常勤の職員の報酬を五百円に改めました。

一般会計





農業共済事業特別会計

歳入

（単価千円）

項目	本年度	前年度	比較 ▽減
共済掛金	1,675	2,021	▽ 346
交付金	18	35	▽ 17
保険金	2,479	2,546	▽ 67
賦課金	500	493	7
県支出金	1,445	1,360	85
繰入金	200	200	0
繰越金	1,716	911	805
諸収入	22	1	21
合計	8,055	7,567	488

歳出

保険料	1,043	2,056	▽ 1,013
共済金	3,129	2,546	583
総務費	2,007	1,748	259
損害評価費	110	110	0
損害防止費	23	20	3
連合会支払賦課金	177	176	1
無時戻金	85	0	85
予備費	1,481	911	570
合計	8,055	7,567	488

国民健康保険特別会計

歳入

（単価千円）

項目	本年度	前年度	比較 増減	備考
国民健康保険税	8,980	8,022	958	
使用料及び手数料	5	5	0	
国庫支出金	14,498	13,185	2,843	
国庫補助金	1,530	1,230	300	
繰入金	2,000	2,000	0	
諸収入	7	13	▽減6	
合計	27,021	23,226	3,795	

歳出

総務管理費	2,176	1,411	765	職員給及び事務費
徴税費	148	112	36	納付書印刷費など
運営協議会費	78	72	6	運営委員報酬など
趣旨普及費	200	200	0	ガン検診、老人検診及び優良家庭表彰
予託金	19	21	▽ 2	支払基金
療養諸費	24,104	21,048	3,056	療養給付費
助産諸費	90	90	0	助産費
葬祭費	110	110	0	葬祭料
育児諸費	54	54	0	保育料
公債費	22	22	0	償還金利子
予備費	20	86	▽ 66	
合計	27,021	23,226	3,795	

農業共済事業特別会計

総額は八百五万五千円で、うち共済費三百十二万九千円、保険料四万三千円、総務費二百万七千円などです。

四十二年度一般会計 一億五千万円

―第一回臨時議会―

三月二十八日午後一時から開かれた第一回町議会臨時会で、昭和四十二年度一般会計の最終の補正予算案が審議され、決定になりました。これで昭和四十二年度一般会計予算の総額は一億五千五百十四万一千円になりました。補正のおもなものは、総務費で十七万円。これは臨時人夫賃と消耗品です。つぎに農業費のうち農業振興費に五十六万三千円、これは稚蚕共同飼育所自動温湿度管理装置、補助四十万円、桑園造成補助十万二千円、企業化資金利子補給六万一千円など、土木費は六十万九千円、これは県道美濃―川辺線および恵那―川辺線の改良工事負担金です。教育費は下麻生小学校々舎改造費五十五万円が、補正になりました。

"税の目"

町の仕事はなんといっても税金が元手。ところで、こんど税法が改正になって、この七月から新しく自動車を取得したときは税金を納めなければならなくなりました。これは「自動車取得税」といって取得額に対し三％の税が課せられます。ところがこれは県税。だが、このうちの七〇％が交付金として町村道の延長、面積に応じて町村に交付されることになっております。

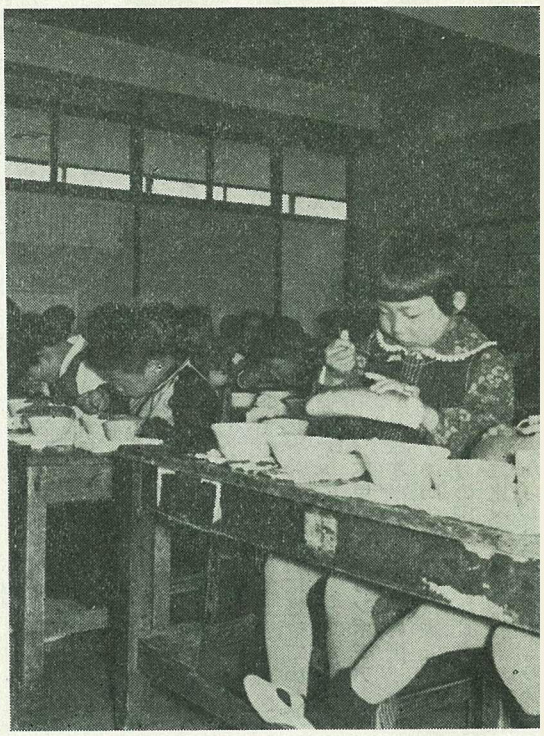
ことしの予算のあらまし

（単位千円）

費目	項目	予算額	項目の説明	昨年当初
議会費	議会費	4,097	議員の報酬，議会活動に要する費用など	3,593
総務費 38,139	総務管理費	20,568	三役，総務関係の職員給および全般的な管理事務，財産，財政管理など）支所運営費，交通安全，広報活動など。	20,325
	企画費	8,601	企画関係職員給および市町村振興計画立案など。	0
	徴税費	5,204	税務関係職員給，納税組合表彰費など。	4,818
	戸籍，住民登録費	2,970	戸籍関係職員給，住民基本台帳作成費(1,132)など。	1,340
	選挙費	664	選挙管理委員会費，参議院議員選挙費(430)啓発費など。	236
	統計費	81	指定統計費など。	84
	監査委員会費	51	監査委員報酬，事務費など。	51
民生費 14,814	社会福祉費	4,052	民生委員報酬，社会福祉関係職員給，敬老会費，遺族会費，国民年金事務費など	3,380
	児童福祉費	10,757	公・私立保育所職員給，運営費，措置費など。	9,259
	災害救助費	5	科目を残す程度，災害が発生した場合は追加される。	5
衛生費 5,604	保健衛生費	2,560	保健衛生関係職員給，伝染病予防，結核予防，環境衛生，母子衛生費など。	
	清掃費	1,044	し尿処理施設負担金など。	2,603
	特別会計繰出金	2,000	国民健康保険特別会計へ繰出し	2,000
農林水産業費 12,467	農業費	7,628	農業委員会費，農業関係職員給，農事改良組合促進費(3,904)農作物病害虫防除薬剤費(227)農業企業化資金利子補給，養蚕振興，農村集団生産活動補助，土地改良事業補助などの各種負担金・補助金(1,170)土地改良工事費(500)北洞農道補助(940)	5,847
	林業費	4,639	町有林下刈工事費，原材料費(1,472)山林協会，森林緑化大会負担金，森林組合補助金(520)林道工事(1,500)など	3,490
	特別会計繰出金	200	農業共済事業特別会計へ繰出し	200
商工費	商工費	918	商工会補助(550)観光事業費など	1,523
土木費 20,087	土木管理費	4,213	土木関係職員給，ダンプ購入費など。	2,354
	道路橋梁費	10,107	軽ほ装補修費(1,680)軽ほ装新設，側溝工事など(5,500)道路関係団体の負担金，県道改良工事負担金(1,780)橋梁工事費(500)など	8,547
	河川費	407	河川関係団体負担金など。	243
	住宅費	5,360	町営住宅管理費(125)住宅建設費(5,000)など。	75
消防費 3,095	消防費	3,095	消防団員の報酬，消防器材の補充，消防ポンプ，自動車の燃料，修繕費，保険料消防協会負担金，防火水槽の設置など。	3,268
教育費 34,064	教育総務費	18,033	教育委員の報酬，教育関係職員の給与，事務費，給食センター建設費(15,535)教育関係団体の負担金など。	2,223
	小学校費	8,779	学校関係職員給，備品購入費(1,809)消耗品などの需用費(1,073)学校関係団体の負担金(1,064)など。	7,116
	中学校費	4,466	教材，図書など備品(964)，実験実習材料，燃料費(745)団体負担金(716)講師報酬，傭人手当など。	3,784
	社会教育費	2,786	成人式，体育協会の補助(550)青年団，婦人会，子ども会，育友会などの助成(320)家庭学級，青年・婦人学級などの育成補助(115)町民会議(200)公民館の運営，職員給など。	1,788
災害復旧費 680	農林水産施設災害復旧	112	災害復旧工事費など	505
	公共土木施設災害復旧	568	〃	
公債費	公債費	6,646	学校，住宅など建設事業債に対する元利償還金	5,991
予備費	予備費	5,000	予備費	4,500
歳出	合計	145,611		100,698

給食センター建設きまる

工事費1千550万円

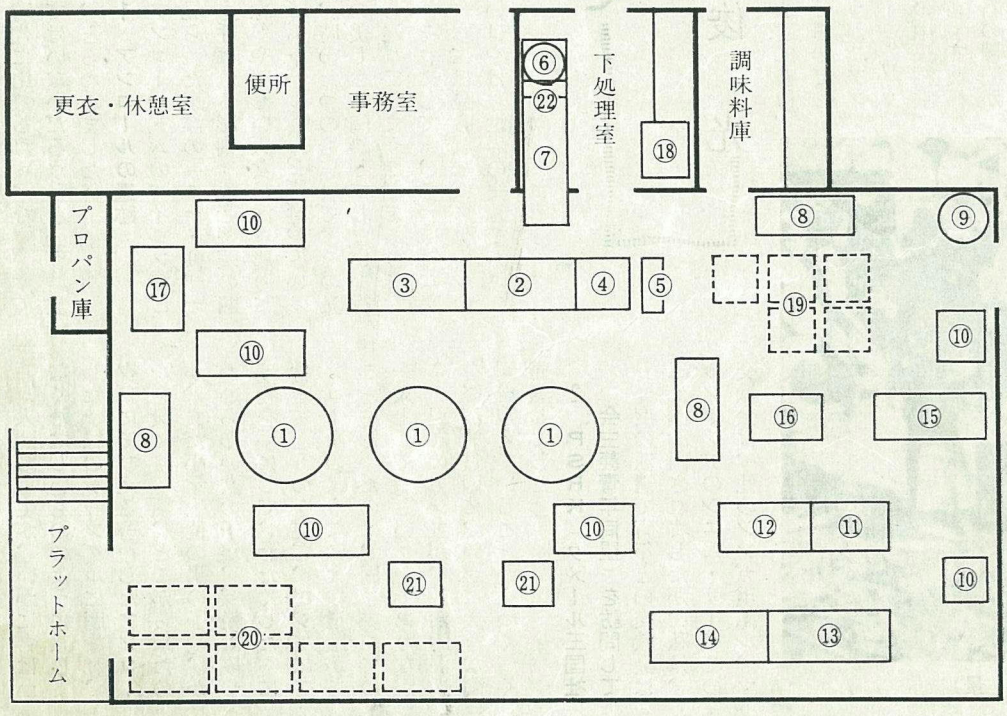


川辺町の学校給食は小学校のみで中学校は行なっていない。また川辺小学校は校舎の改築にともない給食室をとりとわしたので現在仮給食室で行なっているが衛生上からも極めて不完全である。このため次の事項をねらいとして、給食センターの建設が計画されました。

1 小中学校の完全給食
2 給食の学校差をなくする
3 給食物質の合理的な調達と専業化により、給食内容の向上を図る。
4 学校の給食事務の負担の軽減を図る。
5 給食関係施設の設備費および維持費の節減

一、センターの概要
1 位置 川辺小学校北側
2 建物面積約二八一平方㍍（八五坪）
3 給食人員 一、六二〇人
（内訳）川辺小五九七、同分校一〇七、上米田小一七七、下麻生小一四一、中部中五九二、転入見込五
4 運搬方法
運搬用自動車に保温ロッカー運搬車を積み各学校に配食する。
所要時間約三十分
5 事業費 一五、五三五千円
(1)施設費(建物)六、四六三千円
(2)設備費 九、〇七二千円
（内訳）▽備品四、七一二千円▽ボイラー二、四三〇千円▽運搬車九〇〇千円▽電気配線、配管工事五〇〇千円▽設計委託料二五〇千円▽事務費二八〇千円
(3)財源内訳
▽国庫補助金三、三三六千円▽町債七、〇〇〇千円▽一般財源五、一九九千円
6 主なちゅう房器具
○蒸気二七五リットル（五斗）煮炊三重釜 三基
○自動食器洗滌機 一台
○ガス揚物機 一台
○合成調理機 一台
○球根皮剝機 一台
○冷蔵庫 一台
○運搬用自動車 一台
○運搬用ロッカー 六台

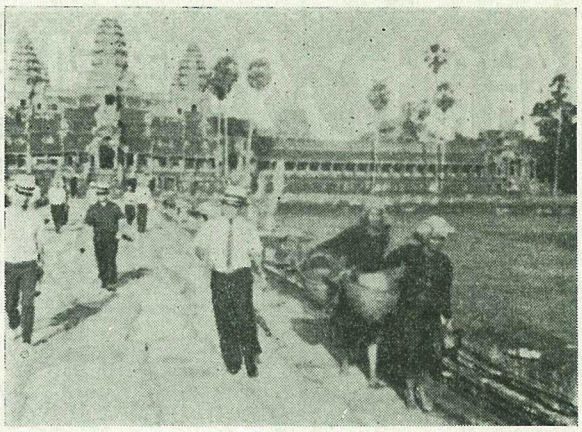
給食センター平面図



説明	
1	蒸気三重釜
2	上流2槽
3	調理台穴あき
4	脇台
5	合成調理機
6	球根皮剝機
7	下流（傾斜槽）
8	パンラック
9	湯茶沸器
10	作業台兼脇台
11	食缶浸槽
12	食缶洗浄槽
13	食器浸槽
14	自動食器洗滌機
15	食器消毒機
16	食缶消毒機
17	ガス連続揚物機
18	冷蔵庫
19	リフト用運搬車
20	ロッカー運搬車
21	室内運搬車
22	球根受流し

東南アジアを旅して

鹿塩　横田　俊光



（アンコールワット）

今度の旅行を終え、帰って来てから多くのかたがたから「東南アジアはどうだった？」とよく聞かれますが、一口に表わせる言葉はなかなか見あたりません。東南アジア諸国を一つにひっくるめましても地理的にもカンボジアとマレーシア、シンガポールは違うように、もちろん気候も異っています。それ以上に、私達が感じました範囲では、カンボジアとタイは、互に隣り同士の国でありながら、それらの国から受ける印象は、まるで違うものがあります。宗教的には両国とも仏教が入っていて、もっと共通点があってもよさそうに思われますが、どだい東南アジア諸国を、ひっくるめて考える事は、私にはとうてい無理なように思えます。わずか十一日間の日程で、五カ国もの訪問をし、私達が見たその一部分の場面を、その国全体の印象として表わすのは又、間違った面もあるかも知れませんで、事前研修における各国の政治、経済、文化などについて勉強した知識でもって実際に見聞し、東亜の臭いがまだまだぬけきらない私の体から、せもといて整理してみたいと思います。その前に今度の私のテーマは、農業関係で、「現地の農業の実情と農村青年の団体活動」というものでありましたが、当初考えておりました以上に、余りには日程に追われた旅になってしまい、期待していた成果が、あがらなかったことを残念に思いますが、一面それ以上に新しい何物かを発見した喜びで、今後の人生における一因子を得、大いに活用していきたいと思います。以下訪問の順序に従って各国の印象を並べ最後に、総括と反省にさせていただきます。

一、不思議な国カンボジア

日本を離れて最初の外国、カンボジアの印象は仲々復雑である。一人当りの国民所得が日本の六九四ドルに比べて、一〇四ドルと云う低さからも、事前に大体の見当持っていたものの、夕方薄暗くなったシェム・リープの飛行場に降りたとたん、びっくりしてしまいました、滑走路の両側にともった光が、何と電気ではなく罐にともした、油の火ではありませんか！飛行機の風圧で今にも飛び消えてしまいそうなのです。空港の建物は電燈がありましたが、それでも街では電燈のついていない住居を、多く見かけました。又、小学校だと案内された建物が、郷子の葉でふいた屋根に板張りの壁で、無窓校舎なのには、これが小学校？と首をかしげずにはいられませんでした。もちろん下は土間であり日本の畜舎か納屋を想像させ、暗い教室の中にそれでも黒板と板を並べただけの机と腰掛らしきものがあるのに、なるほど、やっぱり教室なのかなと、うなずけるありさまでありました。しかしその日の午後、世界に誇るアジアの遺跡でありつづけるアンコールをおとずれて、私はこれが、同じカンボジアの国なのかと疑うほどでありました。アンコールの遺跡については、後に述べますが、スケールといい石造りの建築そのものだけではなしに、芸術としての真価に、素人の私でさえ、かもし出すクメールの文化に陶酔されてしまったほどであります。現在のカンボジアが、そのようなアンコールの時代に比較したら、むしろ後退してはいないだろうかと云う錯覚に、とらわれました。

1　アンコールの遺跡

アンコールトムのバイヨンなどで見られた東洋の「モナ・リザ」とも呼ばれる彫刻〝観音菩薩の四面像〟や美しい天女の浮き彫りに囲まれて、それらを眺めていると、時のたつのも忘れて、その光景の美しさに陶酔してしまい一行から遅れてしまうほどでありました。それにしても、ちっぽけな島国日本には見られないスケールの違いはやはり世界の史跡でありそのエネルギーが、今の世界でも若い私達に感動させるのでしょうか。アンコールワットの中央祠堂に立って壊れた石の欄間から見下ろすと、ジャングルはすぐ足下まで茂り、アンコールの遺跡を築いた帝王は亡びても、千年余生き抜いて来たこの遺跡を目の当りに見る時に、我々人間の一生が、いかにもはかなくむなしいもののように感じました。緑のジャングルに囲まれ、夕日にそびえる苔むしたアンコールを後にする頃、どこから来たのか、まだ小学生位の男の子や、かわいらしい女の子が、裸足でみやげ物を手にして、わたくしたちに付きまとうのを見て、アジアにアンコールのような偉大な遺蹟があることを知ったのは、同じアジアの一人として嬉しいことでありながら、現在のアジアが、政治的混迷を経済的貧困に、いかに大きな問題を抱えていることかをつくづく痛感しました。

2　PSRK（クメール王国社会主義青年同盟）を訪問して

今度の派遣で青年との交歓会は三ケ国計画されましたが、私は、カンボジアのシエム・リーペでの交歓会は、他のシンガポール、マ

（露店風景）

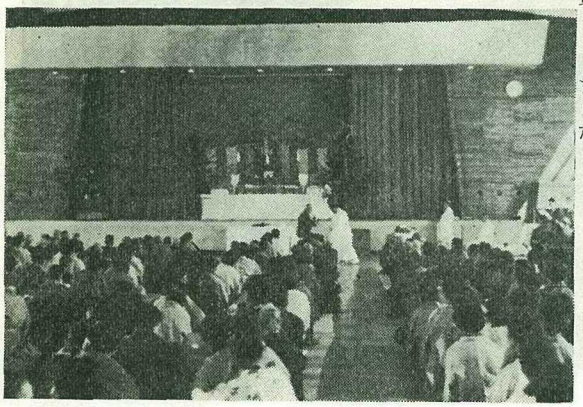
レーシアとは違って、首都から離れ郡部の組織として、私達には身近かな駄り気のない、実際の活動が見られることに期待し、また、ベトナム、ラオスとは境界を持ち現地の青年が、どの様な考えを持っているかが、非常に興味深いものでありました。しかし事務局を訪問し、交歓会だと云うのに誰団員らしき人も見えず、結局通訳を通して、事務局長さんとの対話に済んでしまい、大きくその期待がはずされたものにな[illegible]しまいました。その事については、多少の手続上のミスはあったとしてもあるいは、それが、現実の姿なのかも知れません。シアヌーク殿下が、JSKKの総督におさまり国家、宗教、国王の三つが、一体となって国を守り通そうとするその活動は、日本の戦前の青年学校に似たものがあり、私達が、ベトナム問題について質問しても「我々カンボジアは、ピースフルであって、ベトナムのことについては、全然関係ないことです。」の一点張りで王制下の社会主義と、中立主義の政策の下で、又報道陣も入国させないカンボジアの複雑な空気に触れた感じでありました。言論の自由はもちろん、世界の情勢を自由に知ることが出来る我々日本人としての幸せを、外国に来て始めて痛感しました。カンボジアを後にする、最後の一時間に首都プノンペンの市内見学に出かけ日本にも三ケ年[illegible]と留学されていた、ガイドさんから、新しいカンボジアの国造りの一端を知らされましたが、それまでの〝まだ地球は平らである〟と信じこまれていた様な民族の印象から、やや明るいものを感じました。それにしても初めて見る外国に来て、同じ地球上にいてまだこんな所があったのかと、わずか二日間の私の目に写ったカンボジャの国は、不思議な国でたまりません。

おごそかに慰霊祭

戦没者三六五柱の冥福を祈り

昭和四十三年度川辺町戦没者慰霊祭は、三月十五日中部中学校屋内体育館で、長谷川県議会議員、洞戸加茂県事務所長、加茂郡遺族会長をはじめ町内外の来賓多数の列席を得て、おごそかに執行されました。

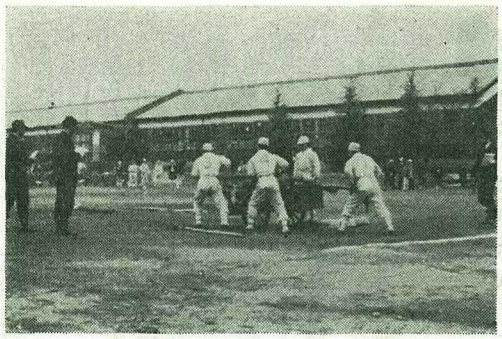
式は神式で、午前十時長谷川収入役の開式のことばのあと、英霊三百六十五柱に対し一同つつしんで拝礼、田原町長の祭文、来賓の追悼のことばに引きつづき浦安の舞が奉納され、玉串奉奠が行なわれました。遺族の方々は改めて今は亡き父、夫、兄弟を偲ばれ涙新たなものがありました。式は遺族会長の謝辞に引きつづき、栗山助役が来賓並びに参列者一同にお礼をのべ、式を閉じました。



郡下の消防水柱の饗宴

—加茂郡ポンプ操法競技会—

去る三月二十四日午前十時から、坂祝小学校校庭で、可搬動力ポンプ操法の競技会が行なわれました。加茂郡下七か町村の消防団から選ばれた、チームは日頃の技を競いあい、わが川辺町のの精鋭もきびしい訓練の成果を遺憾なく発揮しました。



新区長さん紹介

（敬称略）

上川辺　林　茂
石神平　岡清三郎
中川辺　吉田良吉
西栃井　井戸金俊
下川辺　井島　豊
鹿塩　高橋美智夫
下飯田　石井　稔
福島　井上米一
比久見　大脇竹一
下吉田　馬場朋雄
下麻生　小栗威雄

園芸メモ

▽花壇の模様がえ

このところで、いろいろ模様がえをやってみたらどうでしょう。気候はよし、木も草も芽を出して生き生きとしています。移植もよし、形をかえたり、ひろげたり、ビニールを利用した小さい池づくりなどもどうでしょう。

球根の植えつけでは、カンナ、ダリヤ、グラジオラス、ジンジヤアマリリスなどを色、大きさ、花季などを考えながら配植しましょう。秋植えのものでは、チューリップ、スイセン、ヒヤシンス、アイリスなどの花壇で一応花の終わったものは、実をならせないように花首をとりすてておきます。草花の春まくものも、晩霜を考えながらまきつけましょう。暖くなるにつれてまた雑草との戦いが始まります、シマジンなどをじょうずに利用することを心がけましょう。

▽庭木と果樹の手いれ

苗木の植えつけや、手入れも忘れられません。マツの緑かきもやっておかないと折角のかたちがくずれてしまいます。モモ、ナシ、ブドウなどの余計の芽をかいて、よく太陽があたるようにしてやります。つぎ木、さし木のできるものは、時期を失しないようにやっておきましょう。病虫害予防も、注意が肝要ですボルドウ液、砒酸鉛、DDT、ダイセンなど、それぞれ用途に応じ準備します。

晴れの農革賞受賞に輝く

農業後継者クラブ会長 高井広和君

（写真は高井君に鶏舎）

中部日本新聞社主催の昭和四十二年度中日農業賞に川辺町から養鶏の部に、比久見の高井広和君が応募、見事本町最初の「農革賞」をかく得しました。同君は川辺町農業後継者クラブの会長で、農業に対し意慾的な経営をしている若冠二十三才の青年です。

表彰式はさる三月十二日午前十時から、石川県能美郡根上町の赤井公民館で行なわれ、中部九県下から選ばれた九名の受賞者は、県知事をはじめ地元根上町長、審査員の磯部東大名誉教授の方々から祝辞を受けましたが、最年少の高井君の感激はひとしお強かったことと思います。

わずか十一人の川辺町農業後継者クラブの一員である高井君の受賞は、今後川辺町農業に明るい光を投げかけてくれるとともに明日の農業を背負って立ってくれることを祈り心から拍手を送ろうではありませんか。（産業課・加藤記）

運転資金 いつでも借りられます

―国民金融公庫多治見支店

国民金融公庫多治見支店は、四月一日から、次の要領で短期運転資金の貸付を行なうことになりました。いままでこの貸付は、年末短期貸付として年末に特有の必要資金に限り、取りあつかってきたのですが、新制度の実施により、必要なときはいつでも利用できることになりました。

皆様のご利用を、お待ちしております。

短期運転資金貸付について

一、貸付金額　三百万円　ただし長期運転資金貸付、設備資金貸付の残高と合計して三百万円までです。

二、資金使途　運転資金

三、期間　一か年以内（一か年以上の運転資金貸付は長期運転資金貸付となります）

四、返済方法　原則として月賦

五、保証人　原則として一名以上

六、担保　貸付金合計が二百万円を越えた場合には原則として必要ですが、二百万円以下の場合でも個々の事情により担保を提供していただくことがあります

七、その他　短期運転資金は長期運転資金貸付、設備資金貸付と重複して三百万円まで年中ご利用できます。

選挙人名簿

登録者六、三八六人

昭和四十二年三月三十日現在で選挙人名簿に登録されている人は六、三八六人で投票区別の人数は次のとおりです。

投票区名	男	女	計
川辺	462	502	964
川辺	1,192	1,340	2,532
川辺	194	221	415
塩	179	196	375
島	213	229	442
見	271	302	573
田	137	148	285
生	370	430	800
計	3,018	3,368	6,386

泰平一家

森比呂志 れんさい

※春の大そうじ

春の大そうじは、カ、ハエ、ノミ、ネズミなどの害虫を徹底的に退治することに重点をおきましょう。

天井裏―懐中電燈で照らしながらよくほこりを取り、消毒剤を噴霧器を利用して、たっぷりかけます。消毒剤は、薬局などでよく相談をする。

床下―消毒剤、石灰などを十分まく。

たたみの裏―よく日に当ててほこりをたたき出す。床板の上には新しい新聞紙を三枚ぐらい重ねて敷く。消毒剤を忘れずに十分かける。

便所の回り―くみ取り口の周囲の上を十五センチほど掘り返し、ウジを殺す薬（薬局で聞いて買う）をよくまく。ゴミ捨て場や下水の付近も同様にする。

なお消毒剤のあと始末に注意する。

編集室

「目に青葉、山ほととぎす……。」の新緑の季節。野にも山にも若葉のにおいが満ちあふれます。またこの季節は観光の季節。どこのご家庭でも、たのしいプランをお考えのことと思いますが、家族そろっての旅行など、大いにこの季節を楽しんでください。